

第4回

日本体育大学救命蘇生研究会

Challenge forever from 2021

新型コロナウイルスとの更なる格闘

会期：2021年12月11日（土）9:30~18:30

【特集】9:40~10:50

「東京オリンピック・パラリンピック2020」

1. 【基調講演】

「君はどう考える？ 東京オリンピック・パラリンピック2020の医療救護体制

～日体ファミリーの視点から～」

日本体育大学大学院 保健医療学研究科長

横田 裕行 教授

2. 日体大からの医療支援報告

3. 【教育講演】 11:00~11:45

「ますます広がる救急救命士の活躍の場」

救急救命東京研修所

田邊 晴山 教授

4. 【特別講演1】 15:00~15:30

「海上保安庁における新型コロナウイルス感染症対策について」

海上保安庁警備救難部救難課 医療支援調整官

寺門 嘉之 様

5. 【特別講演2】 16:30~18:00

「全ては傷病者のために～語られる人になる～」

東京消防庁OB・救急救命士

小久保 文正 様

主催：日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科

後援：東京消防庁救助救急研究会

会長：小川理郎 学科長

参加方法：日本体育大学 東京・世田谷キャンパス(世田谷区深沢7-1-1) 2202教室での対面聴講

または、Zoomでの遠隔聴講でご参加いただけます。

内 容：救急医療学科 在学生・卒業生・教員・医療従事者による研究発表と意見交換

参加費用：無料

申し込み方法：感染防止観点から会場の収容人員を管理するため、QRコードより参加登録をお願い致します。

申し込み期間は、令和3年11月8日(月)～12月6日(月)です。

問い合わせ先：中澤・三橋・星

電話：045-507-7294 メール：nakazawamayumi@nittai.ac.jp(中澤真弓)

(1) 申し込みされた方々へ、12月上旬ごろにZoomのURLなどのご案内を、メールでご連絡させていただきます。

携帯電話でドメイン指定受信の設定をされている方は、本学からの申込確認メールを受信できるように、

本学ドメイン【nittai.ac.jp】の追加指定をお願いいたします。

また、登録のメールアドレスの入力間違いにご注意ください。

(2) 当日の講演内容の撮影及びURLの転用は禁止です。著作権の問題がありますので、必ずお守りください。

(3) Zoomを利用しての開催もしておりますので、ネット環境などは参加者の方でご用意ください。

(パケット通信料などにご注意ください。)

(4) 過去の日本体育大学救命蘇生研究会の様子は、

日本体育大学救命蘇生・災害医療学研究室ホームページからご覧いただけます。

<https://nittai-ems.com/educations/event/lifesaving-resuscitation-study-group/>

参加登録



以前の救命蘇生
研究会の様子



スケジュール

| | |
|---|---|
| 9:30～9:40【開会式】 | |
| 9:40～10:50【特集】「東京オリンピック・パラリンピック2020」 | 座長：野口 英一 学事顧問 |
| 【基調講演】君はどう考える？オリンピック・パラリンピックの医療救護体制～日体ファミリーの視点から～ | 日本体育大学大学院 保健医療学研究科長 横田 裕行教授 |
| 東京オリンピック・アーチェリー会場医療責任者としての報告 | 日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科長 小川 理郎教授 |
| 東京オリンピック2020での救急艇を活用した救護活動の報告 | 博士課程2年 北野 信之介 |
| 東京オリンピックサッカー競技の医療ボランティアに参加して | 救急救命専門指導教員 坂田 健吾 |
| 11:00～11:45【教育講演】ますます広がる救急救命士の活躍の場 | 救急救命東京研修所 田邊 晴山 教授 座長：藤本 行和（東京消防庁 救助救急研究会） |
| 11:45～12:20 口演① 現場～GENJO～ | 座長 星 光長（救急救命専門指導教員） 助言者：藤本 賢司（博士課程2年） |
| 最も過酷だったコロナとの闘い | 松戸市消防局 佐藤 大地 |
| 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と診断された 在留外国人（アフガニスタン国籍）の搬送に苦慮した症例 | 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 鵜田 正博 |
| 病院間連携においてECMOcarによる搬送が有効であった事例の報告 | 日本医科大学付属病院 草間 遼大 |
| 日体大救急医療学科生によるコロナ禍でのロジスティクス業務に関する検討 | 救急医療学科4年 萩原 鈴香 |
| 12:20～13:10 ランチョンセッション 指導者からの報告～Reports from faculty～ | 座長：鹿野 信一（救急救命専門指導教員） 助言者：中澤 真弓 准教授 |
| 新型コロナウイルス感染症の流行が救急需要に与えた影響に関する調査 | 救急救命専門指導教員 三橋 正典 |
| 神奈川県中学校総合体育大会における救護活動～アフターコロナ・ウィズコロナ～ | 救急救命専門指導教員 小倉 勝弘 |
| Virtual Realityを活用した救急医療の動画教材作成と今後の課題 | 救急救命専門指導教員 原田 諭 |
| 当大学の女性救急救命士で編成された救急隊活動での調査 | 救急救命専門指導教員 樋口 麻衣 |
| 13:10～13:55 口演② 挑戦！～New challengers～ | 座長：草間 遼大（日本医科大学付属病院） 助言者：成川 憲司（博士課程1年） |
| 覚悟 ～全ての傷病者のために～ | 救急医療学科2年 尾崎 沈希 |
| 第一歩～コロナ禍を踏まえた救護ボランティアを通して～ | 救急医療学科1年 太田 敦/松本 侑真 |
| 救急救命士養成課程学生によるバックバルブマスク換気の送気量比較 | 救急医療学科1年 岩崎 初芽 |
| 自転車競技部学生の受傷事故の実態と救急救命士としての対応 | 救急医療学科1年 今井 純志 |
| 改革～新型コロナウイルスと向き合う～ | 救急医療学科2年 糟谷 一心 |
| 14:00～14:50 口演③ 成長～Development from experience～ | 座長：成田 寛之（修士課程2年） 助言者：鈴木 健介 准教授 |
| 救急救命士学生におけるメディカルラリー実施の成果 | 救急医療学科4年 亀山 友里 |
| 野外活動実習Ⅲ(河川)の教育効果と今後履修する学生へ | 救急医療学科3年 産形 大地 |
| 会津の名峰、磐梯山に挑戦！大学生生活最後の実習Ⅳ | 救急医療学科4年 澁澤 良亮 |
| 緊急事態宣言下における大和市消防本部での救急車同乗実習について | 救急医療学科3年 井開 泰輔/菊地 優真 |
| COVID-19再感染拡大下での病院実習で学んだこと。～ECMO CAR搬送を経験して～ | 救急医療学科3年 三浦 誠人 |
| 360度動画を用いたSTART法トリアージの資料映像作成について | 救急医療学科4年 長内 彩乃 |
| 15:00～15:30【特別講演1】 海上保安庁における新型コロナウイルス感染症対策について | 海上保安庁警備救難部救難課 医療支援調整官 寺門 嘉之 様 座長：小倉 勝弘（救急救命専門指導教員） |
| 15:30～16:20 口演④ 研究～Report from the Lab～ | 座長：秋月 亨太（修士課程2年） 助言者：山田 真吏奈 准教授 |
| 入学半年後の呼吸と橈骨動脈触知の正確性 | 救急医療学科4年 天野 智仁 |
| 病院内における感染対策の特別指導を受けた自信の変化 | 修士課程1年 古正 風沙 |
| 救急救命士養成課程学生における胸骨圧迫の質の推移 | 修士課程1年 田畑 龍正 |
| 暑熱環境下における胸骨圧迫の身体的負荷について | 修士課程1年 高橋 治花 |
| 在宅医療で必要な知識と技術の検証～いばらき診療所での研修報告～ | 修士課程2年 郡 愛 |
| 近道？回り道？大学院修了後に米国パラメディック留学に「挑戦」！ | 研究員 小玉 響平 |
| 16:30～18:00【特別講演2】全ては傷病者のために～語られる人になる～ | 元東京消防庁・救急救命士 小久保 文正 様 座長：小川 理郎 教授 |
| 18:00～18:30【閉会式】 | |